

## 提出された意見と市の考え方

### ■計画書の内容に関する意見

No.	該当 ページ	提出された意見	市の考え方
1	—	●田原市の総合戦略に位置付けられているサーフタウン構想を記載してください。	・立地適正化計画の策定の趣旨から、特にサーフタウン構想の記載は必要ではありませんので、原案どおりとします。
2	P29 P71 P80 P85 P92	●居住者の現在の割合を、市街化区域が約4割、市街化調整区域が約6割と多くの箇所に記載がありますが、不正確で誤解を招きます。平成27年で計算すると、市街化区域が34.84%、市街化調整区域が65.15%になり、四捨五入するのであれば、市街化区域が3割、市街化調整区域が7割になります。4割：6割ではなく、3割：7割、若しくは3.5割：6.5割、または1/3：2/3と誤解のない表現にしてください。	・「約3.5割、約6.5割」に表記を変更します。 ・P85は、改定版田原市都市計画マスタープランの原文であるため、原案どおりとします。
3	P38	●人口の増減率で臨海市街地での増加は、区画整理事業による宅地の増加に起因する旨を記載してください。	・「土地区画整理事業などの影響により」を追記します。
4	P43 P80	●都市構造の現状のまとめの空き家の状況で、市街地から遠い地区ほど空き家率が高い傾向とあるが、田原地域・赤羽根地域ではその傾向は顕著ではなく、渥美地域でも中山・西山・一色など空き家率は高く、市街地から遠い伊良湖・日出では空き家率は低く、福江市街地から隣接地域の中山では空き家率が高くなっているが、市街地から遠い地域ほどと表現するような規則性はないので、統計上の母数の少なさ(集落の人口)からくる誤差(偏り)なのか、津波浸水地域からの転出なの	・「空き家率でみると、渥美地域が高い傾向にあり、中山・堀切・和地地区では8.0～10.0%、亀山地区では10.0%以上の箇所が見られます。」に変更します。P43 ・「渥美地域の空き家率が高い」に変更します。P80

		か、道路の狭さ・敷地の狭さからの転出なのか、産業変化の中での転出なのか、正確な分析と的確な表現に変えてください。	
5	P80	●都市構造の現状のまとめの土地利用状況で、一敷地を複数個に分割したミニ開発も多く見受けられるので、住環境の悪化を招くミニ開発を土地利用で記載してください。	・業務の参考とさせていただき、原案どおりとします。
6	P80	●都市構造の現状のまとめの公共交通のサービス水準で、伊良湖支線の本数の少なく高くない水準ではなく、低い水準と難しい表現ではなく分かりやすく表現してください。	・「低いサービス水準」に変更します。
7	P65	●都市機能の分布の商業施設で、堀切町の店舗は閉店しています。若見町の店舗は12月に閉店するので、最新のデータにしてください。	・H30.4.1 現在（P57 に記述）の立地状況となっていますので、原案どおりとします。
8	P91	●P. 91の海上交通軸を大きく表現してください。また凡例に記載してください。	・凡例に記載します。
9	P108	●城下田原線の説明文の「最終的に中心拠点の防災面に配慮した道路の整備」の最終的には不要ではないか。	・段階的な整備を想定していますので、原案どおりとします。
10	P151	●赤羽根地域の地域包括支援センターは、市民センターと図書館と同一敷地内にありますが、市民センター及び図書館は都市機能誘導区域に誘導するとありますが、施設の複合化のなかで地域包括支援センターも住民の利便性・施設の維持管理の点から複合化の検討に含めてください。	・誘導施設には設定しませんが、複合化の検討はする旨の記述となっていますので、原案どおりとします。
11	P151	●渥美文化会館の文化ホールは市内最大の700席ですが、誘導施設の設定のなかで文化ホールの記載がありません。文化ホール（渥美文化会館）は廃止ですか。	・現在の敷地から都市機能誘導区域への誘導を考えていないため、原案どおりとします。

12	P151	●福江拠点に子育て機能の誘致を検討とありますが、P 1 5 1 の図には表記がないので記載してください。	・検討して決定すれば、P151 の図に入ることとなりますので、原案どおりとします。
13	P155	●P 1 5 1 に親子交流施設は平成31年4月に立地済とありますが、計画の実現に向けてでは、中心拠点への親子交流施設の整備等と表記があります。中心拠点には親子交流施設が整備済みではありませんか。	・H30.4.1 現在（P57 に記述）の立地状況となっていますので、原案どおりとします。
14	P159	●誘導施策のなかに、福江拠点の交通の分散・スムーズな交通の実現のため整備が進められている福江外環状路線（梵木下南線・山田古田線・段土仲原1号線）を記載してください。	・業務の参考とさせていただきます、原案どおりとします。

#### ■その他(計画書に反映せず要望・意見として取扱う意見)

No.	該当ページ	提出された意見	市の考え方
1	—	●表浜から渥美図書館へは混雑する国道259号線を避けて南側から行きましたが、福江拠点へ都市機能を誘導すると混雑している国道259号が更に混雑するので対策を行ってください。	・業務の参考とさせていただきます。
2	—	●混雑緩和のため、福江拠点の外環状線（梵木下南線・山田古田線・段土仲原1号線）の整備を記載してください。	・業務の参考とさせていただきます。
3	—	●乗降のためにバスが停車すると、後続車が反対車線にはみ出してバスを追い越すため大変危険ですので、バス待合環境の整備等にバスベイ（バス専用の停車スペース）を設けてください。	・業務の参考とさせていただきます。
4	—	●バス待合環境の整備等にスクールバスの待合環境を追加してください。	・業務の参考とさせていただきます。
5	—	●一敷地を複数個に分割するミニ開発が増えていますが、敷地面積が小さく子供が成人になった時に駐車場が取	・業務の参考とさせていただきます。

		れなくなる恐れがあり、良好な居住環境ではなくなります。歩いて暮らせる健康的で魅力的なまちづくりで、地区計画で設けている敷地面積の最低限度を田原市街地でも設けてください。	
6	—	●赤羽根拠点は3集落（東・中・西）に分かれていたが、集落が大きくなり旧道（表浜街道）に沿って帯状に拡大していきました。昭和26年に県道伊良湖白須賀線（国道42号線）が敷設され、それに伴い集落も徐々に北へ広がっていきました。赤羽根拠点は県道・市道の南北交通網は発達していますが東西方向は国道42号線のみであり、国道の北側では土地区画整理事業や認定こども園（令和4年度に高松・赤羽根・若戸保育園の統合）が控えており東西交通の需要は高まっているので、認定こども園の北側の市道を赤羽根出口浦田二番線（赤羽根中学校体育館から北側の市道）から県道赤羽根泉港線、更に延長して赤羽根野田線へと繋がる赤羽根拠点の外周部に道路を設けてください。	・業務の参考とさせていただきます。
7	—	●認定こども園には150人ぐらいの園児が送迎されるので国道42号線の朝夕の混雑が増大します。また令和3年度に泉中学校が赤羽根中学校と統合されるので、スクールバスのルートである赤羽根泉港線の拡幅整備と国道42号線の交差点改良をしてください。	・業務の参考とさせていただきます。
8		●ショップレイ周辺整備事業の整備検討が進められていますが、歩いて暮らせるコンパクトシティのモデルになるような行政施設・商業施設・子育て支援施設・福祉施設、郵便局・金融機	・業務の参考とさせていただきます。

		<p>関（三菱UFJ銀行・豊橋信用金庫・蒲郡信用金庫）、移転先の決まっていない高木住宅、観光案内所、バスターミナル、旧市街地へと通り抜けられる南北通路のある、渥美半島西部の拠点核となる魅力あふれる複合施設にしてください。</p>	
9		<p>●保美貝塚を歴史公園として整備してください。</p>	<p>・業務の参考とさせていただきます。</p>